

2021年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福岡県 】

学校名【 八女市立南中学校 】

1 実践テーマ	①・II・③・IV・V（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	対象学年：全学年 214名 (3年生73名、2年生66名、1年生75名)
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 (O) 特別支援教育講演会 その他 (O) 専門委員会による図書紹介 (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を踏まえ、全学年の生徒を対象に、パラスポーツのトップアスリートからの講演などを通して、特別支援を要する生徒もそうでない生徒もともに学び、ともに生活やスポーツを行うことで、お互いの違いを認め合い、尊重しあう態度を育てる
5 取組内容	○特別支援教育講演会講演会 「夢への挑戦 ～挫折から野出発」 ゴールボール（シーズアスリート所属） 浦田 理恵選手（2020東京パラリンピック銅メダリスト） 日時：11月24日（水）14:00～15:45 対象：全学年 内容：講話・ゴールボール競技体験 生徒たちは浦田さんの言葉の一つ一つを真剣な表情で聞いていました。また、全生徒がボールを実際に触れ、投げることでゴールボールの難しさを体感しました。アイシェードを着けた生徒代表者12名による模擬ゲームもあり、ゴールボールやパラスポーツへの関心が高まったようです。

特に、ある生徒は、「実際にボールを投げてみて、あんなに重いボールをアイシェードをしまっすぐに投げるのはとてもすごいことだし、たくさんの努力をされたんだなと思いました。また、目が見えなくなってからたくさんの人に支えられているんだと感じたとあったけど、私も家族や周りの環境はあって当たり前だと思っていた所があるので、感謝を忘れずにしたい」と感想を述べていた。



○専門委員会によるオリパラ紹介

「オリンピック・パラリンピック関連記事等の紹介」
スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史や国際理解に関する学びを進めるために、委員会によるオリパラ紹介を行い、広報啓発を行った。



○各取組の振り返り

取組の直後の帰りの会等で、各クラス感想の記入や紹介等を実施した。その後、模造紙掲示（生徒昇降口）や学年便り等を活用して、取組の振り返りを行った。



(生徒昇降口に模造紙掲示)



(模造紙掲示による取組の振り返り)

6 主な成果

- ・特別支援教育講演会では、昨年度同様にパラスポーツのトップアスリートである選手を招聘することができた。今回は、ロンドンパラリンピック金メダル、東京パラリンピック銅メダルを獲得したメダリストを招聘し講演をいただいた。

	<p>(生徒感想から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分は、小さい人間だと思った。浦田さんは、だんだん目が見えなくなる自分と向き合い、勇気を持って自分について伝えていた。そして、今日も明るく元気な声で話していらしたので、こっちまで元気をもらった。 ・自分ができないと言ってあきらめるのではなく、どうしたらできるようになるのかを考えて行動する」という言葉が胸にささりました。僕も、すぐにあきらめるのではなく、チャレンジする心を持って、どうやったらできるようになるかを考えることを意識して生活していきたいです。 ・浦田さんの講演を聞いて一人ひとりが個性を受け入れる、支え合える、そして協力しあいながら生きていくことのできる社会になってほしいと思います。一人ひとりが、そうしていくことが大事だと思いました。
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<p>特別支援教育講演会では、全生徒を対象としたため、講演だけでなく、ゴールボール体験を全生徒による体験や選抜生徒による試合体験をプログラムで実施した。また、生徒会専門委員会の取組として、オリンピック・パラリンピック関連新聞記事を整理し掲示を実施したり、それぞれの取組について模造紙による掲示や学校便り、学年便りなどで取組の振り返りを行ったりすることで学校全体として、パラリンピックやパラスポーツのへ理解を高めた。</p>
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・トップアスリートによる講演会を学校で実施できたことは大変有り難い。次年度以降、継続的な実施ができないか検討したい。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パラスポーツ関連の新聞記事の切り抜きによる情報提供等を継続的に生徒会専門委員会の取組として継続実施していく。 ・特別支援教育講演会は例年事業として実施する。継続的本事業を受けることができ、パラスポーツのトップアスリートが招聘することができ、大変有り難かった。しかし、来年度以降、当校単独でトップアスリートを招聘は難しいが、工夫して取り組みたい。